

【公開文書】

臨床研究：

「高リスク前立腺癌に対する陽子線治療で併用する最適なホルモン治療の探索」について

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

局所限局性前立腺癌高リスク群に対して高線量の陽子線治療を施行した場合のホルモン療法併用の有効性と併用期間を後方視的に検討する。

② 研究対象者

局所限局性前立腺癌高リスク群にて、2008年1月1日から2011年12月31日までに陽子線治療を受け「局所限局性前立腺癌に対する陽子線治療の多施設共同後方視的研究」にご参加いただいた患者さん。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年3月31日まで

④ 研究の方法

先行研究（研究課題名「局所限局性前立腺癌に対する陽子線治療の多施設共同後方視的研究」）で集積された匿名化データから高リスク群患者を抽出し、治療内容とその結果を詳細に検討する。

先行研究の参加施設：名古屋市立西部医療センター、兵庫県立粒子線医療センター、
国立がん研究センター東病院、静岡県立静岡がんセンター、
脳神経疾患研究所附属南東北、福井県立病院、
メディポリス国際陽子線治療センター
筑波大学附属病院

⑤ 試料・情報の項目

年齢、病期(ステージ)、PSA値、グリソンスコア、ホルモン療法の種類、ホルモン療法の期間、予後情報。

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 石川 仁

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

本研究への参加を希望されず、データ利用の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線腫瘍科 担当 石川 仁

電話：029-853-7100（陽子線センター）、（平日 8：30～17：00）

FAX：：029-853-7102